

一般社団法人日本セーフティパドリング協会

2025 年度事業計画（案）

一般社団法人 日本セーフティパドリング協 理事会

2025 年 1 月 1 日

2025年度ビジョン

「自由の中にある社会的責任を果たせるパドルスポーツのプロ集団であり続ける」

2025年度事業計画策定にあたり

新型コロナウイルス、地震、豪雨、猛暑など私たち人間の力では抑えようのない自然災害そして戦争がおり私たちの日常が、社会活動が、経済活動が、そしてパドリング活動が大きく揺らぐ事態になり、これまで当たり前であったことがこれまでのように、いつも通りには行われない状況になりました。

このような背景のなかで策定した推進のための活動項目（ビジョン実現に向けた5つの約束）は、日本セーフティカヌーイング協会から、日本セーフティパドリング協会に改名しスタートした年に策定したものです。

今後の社会状況に対応した「心身の健全な発達に必要なアウトドアスポーツ。」「パドリングスポーツを推進する組織の在り方」について、私たちが思い描く望ましい姿の実現に向け、改めて「使命（ミッション）」の確認と役割を再認識したうえで、その行動計画（アクション）と到達目標（ゴール）を提言するものです。

【推進のための活動項目（ビジョン実現に向けた5つの約束）】

・責任ある会員増強

昨今インストラクターを名乗る方たちのツアーでも事故が多発しております。わが協会では、数多くの質の高いインストラクター、ガイドを育成し、その人材の豊かさと優れた指導法で、業界をリードしていきます。

・安全活動の普及

地域毎に一般向けの安全普及に関するイベント、「パドルスポーツセーフティミーティング」を開催いたします。安全に関心を持てるパドラーを増やすことで事故を減らしていきます。

・JSPAの認知度向上

わが協会の認知度を向上させることにより、パドリングインストラクター、ガイドの価値を向上させます。

・協会運営の強化

会員や委員会からの積極的な意志を尊重し、会員の自発的参加を基本にします。

我々は海、川、内水面でのパドリング活動を種目の垣根を超え、これまで以上に長期的な視点に立って、多様性、環境保全に配慮した柔軟かつ大胆な活動を会員同士が同じ目的の実現をめざし力をあわせていきます。

・感動と喜びを

パドリングを通じ、人々が豊かさと幸福を実感できる、持続可能な未来社会の実現に貢献します。

これまでに引き続き、安全に関わる活動、パドルスポーツの普及に寄与、認知度向上を図り会員増強を目指します。

2025年1月

一般社団法人 日本セーフティパドリング協会

代表理事 山口 浩也

理事会・委員会事業

理事会

2023年度から再開した官公庁等やOTAへの渉外業務を継続して行います。自治体が主導するアクティビティの資格制度が増えているので、情報を収集し、互換資格に採用してもらえらるための意見交換をし、会員の利益に資するようなシステム作りを行います。官公庁への強化の認知のための訪問も引き続き行います。公認スクールの増加のための西日本エリアへの強化を進めます。

○定期理事会 6月、1月

○三役会議 5月、11月

○渉外業務

海上保安庁、UMI協議会、国交省舟艇室、北海道庁、沖縄カヤックガイド協会

旅行会社本社、環境省、観光庁、スポーツ庁、消費者庁 他関連官庁、団体、OTA

○地域ブロックでの会員研修会開催に向けたサポート

○一般愛好者向けの全国10箇所でのSRP講習会のサポート

教育普及委員会

■構成員

担当理事 : 野田 (Verde 大台ツーリズム)

委員長 : 松澤 (支笏湖ガイドハウスかのあ)

委員 : 安藤 (PADDLERS)

: 山本 (Kiaora paddle)

: 中野 (牡鹿半島ガイド なかのカヤック)

: 中村 (一滴 Paddle & Mountain Guide)

: 嘉藤 (BLUE HOLIC Sea Kayak St.) ※JSPA 救急法担当

■活動予定

- ・検定会開催に関わる書類審査
- ・検定会開催後の書類審査
- ・研修会開催に関わる書類審査
- ・研修会開催後の書類審査
- ・更新単位制度の検討
- ・ベーシック制度とアドバンスト制度改変の検討
- ・検定会申請用紙の効率化
- ・ベーシック検定員資格取得/更新研修会の実施

■検定会開催予定

アドバンストインストラクター課程 3会場

ガイド課程 リバー、シー

安全対策委員会

■構成員

担当理事	：中村（一滴 Paddle & Mountain Guide）
担当理事	：森井（SAVE BLEU）
委員長	：村上（Towadako Guidehouse 権）
委員	：佐野（Nature Land Kayaks）
	飯山（笹川流れカヤックセンター）
	澤木（パドル屋）

■活動予定

- ・協会内の事故報告の集計と共有
 - ・ヒヤリハット報告フォームの見直し
 - ・海上保安庁からの事故資料への返信と協会内での共有
 - ・海上保安庁以外の事故&マナーに関する情報の収集と協会内での共有
 - ・海上保安庁との SUP・カヌー/カヤック・ミニボートに関する意見交換会への参加等の渉外活動
 - ・新規公認スクール開設申請の審査
 - ・継続申請の審査
 - ・既存公認スクールの運行規程の確認
 - ・公認スクール変更届の受理
 - ・正会員及び一般会員登録変更届の作成
 - ・安全啓発の広報物の作成（パドルスポーツ全般）
- ※上記項目を精査し、優先度をつけて進めていく

広報委員会

■構成員

担当理事	：堀川（パドルクエスト パドリングスクール）
	：高田（パドル屋）
委員長	：楠（フラットフラット）
委員	：東野（龍屋）
	太田（ぼちぼちアドベンチャーすその）

■活動予定

- ・JSPA としての情報発信（ブログ、SNS、X）
- ・公認スクール実績集計
- ・会員を増やすための広報、SRP の催行増加策

環境委員会

■構成員

- 担当理事 : 紺野 (アースクエスト)
委員長 : 森井 (SAVE BLEU)
委員 : 野元 (かごしまカヤックス)
:

■活動予定

○2025 年度事業計画概要

引き続き環境保全事業者認定制度の運営を行うと共に、コピーやシンボルマークの制定、HP には、による広報を通じて制度の業界内外への広報に努め、協会加入のメリットの一つとなり得るように、認知度を高めていきます。

会員の環境保全に関する知識と技術を向上させるため、LNTL1 インストラクターコースを 1 カ所で開催、また、環境委員会主導の会員研修会も開催いたします。

広報の一環として、国立公園活用パートナーへの登録を行い、環境ガイドラインや、環境保全ツアー事業者認定の環境保全計画について、周知に努めると共に、JSPA の環境への取り組みを発信していきます。

また、協会発行のテキストへ、環境保全に関する基礎的知識を盛り込めるよう、準備調整を進めていきます。

○環境保全ツアー事業者認定事業

- ・公募による認定事業者名のコピー及びシンボルマークの策定
- ・環境ガイドライン及び環境保全ツアー事業者認定チェックリストの精査更新
- ・広報 HP の作成

○LNT L1 インストラクターコース、会員研修会

・LNT L1 インストラクターコース及び環境保全に関する会員研修会を開催し、会員の環境保全に関する知識と技術の向上を図る。L1 インストラクターコースは、1 カ所で開催、会員研修会は最低でも 1 カ所で開催予定。

○環境省国立公園活用パートナーへの登録

・環境省が「国立公園満喫プロジェクト」の一環として行っている、国立公園活用パートナーへの登録申請を行う。

○テキスト向け環境関連知識の草案作成

・現在、テキストには環境保全に関する項目が設定されていない。パドルスポーツインストラクターに必要な、環境保全に関する知識を検定テキストに盛り込めるように準備調整を進める。

○必要に応じた委員の増員

- ・事業計画達成のために、必要に応じて委員の増員を行う

パドルフィッシング部会

■構成員

- 担当理事 : 本橋 (サニーコーストカヤックス)
委員長 : 中谷 (RAINBOW 三河湾シーカヤックスクール)
委員 : 石井 (Outdoor Marine)
: 松永 (Kayak55.com)

■活動予定

- ・安全啓発の広報物の作成 (フィッシングに特化したもの)
- ・安全啓発活動 (主要 SNS での情報発信、パドルフィッシングに特化したセーフティミーティングの実施、他)
- ・事故情報などの収集、分析
- ・事業者、海上保安庁、消防とも連携を図りつつ安全対策を講じる組織を設立するための準備作業。

事務局

■構成員

- 事務局長 : 紺野祐樹
事務局員 : 石原、ほまれの里